

## 社会システム土木系学科

募集予定

2人

わたしの  
AO入試

## 志願票も面接も“一番伝えたいこと”を意識

私は、中学生の頃からインフラの維持管理や修繕について興味を持っていました。それが学べる大学を探していたところ、担任の先生が鳥大を勧めてくれたんです。当初は一般入試を考えていましたが、自分の考えを自分の言葉で表現するのが得意な私にはAO入試が合っていると思い、チャレンジすることにしました。話すのは得意だけど文章を書くのは苦手で、志願票の作成には苦戦。先生に下書きを見せたら「全然ダメ」と突き返されて、文章が得意な友達や両親も巻き込んで必死の書き直し！一番伝えたいことは何か、結論だけでなくプロセスや当時の気持ちを盛り込むことなどに気を付けながら、滑らかに読んでもらえる文章に仕上げました。

## 1人で悩まず、周りの人を頼ってAOに挑もう！

1次面接では志願票に書いた内容以外に試験会場までどうやって来たか等も聞かれ、一瞬戸惑ったけど「私の人柄を見られているんだな」と思い、変に飾らずありのままの自分で答えました。1次選考終了後すぐに小論文対策。ひたすら過去問を解き、社会の先生に添削してもらいました。時事問題がテーマになることが多いので、新聞を読んでおくのも大事ですね。口頭試問も過去問を参考に対策。英語は、英検準2級の2次試験問題集を活用し、英語の先生と練習していたおかげでバッチリでした。短時間に様々な試験対策に取り組まなければならないAO入試を1人でやり遂げるのは大変です。周りの応援に頼ることが成功の秘訣かもしれません。

全文は  
Webで!

3年

まつもと のぞみ  
松元 望美さん

愛媛県立松山南高等学校出身

MY FAVORITE “TOTTORI”

心癒される夕焼けの空

キャンパス西側に湖山池を見渡せる場所があり、そこから眺める夕日が最高にきれい！特に、夕焼け空がだんだん夜色になっていくときの空のグラデーションは感動ものです。



## 2019年度AO入試 第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2019年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2020年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して  
求める力

社会システム土木系学科では、工学に関わる専門的な知識とともに、社会のしくみに関わる幅広い知識を持ち、安全で安心な社会の構築に貢献できるエキスパートの育成を目指しています。数学・理科の力とともに、高校時代に履修できるあらゆる科目や活動を通じて積極的に学び、社会のさまざまな課題について多面的にとらえるための幅広い教養を養ってください。

講義等理解力試験	講師(1名)が、本学科の教育内容や研究内容に関する講義(90分)を行い、その後、講義内容に関する筆記試験(60分)を行いました。
小論文	海外からの旅行者を対象とする体験型観光について、鳥取県での実施例を紹介した。更に、このような取り組みは、住民が見慣れた自然環境がエコツーリズムとして世界的に注目されていることを気付くきっかけになったこと、生態系保存の観点からも期待されていることを説明した。このような事例をもとに、地域活性化に向けて①「地域固有の資源」の新しい活用法と、②「地域固有の資源」を活用する際に配慮すべきことについて自分の考えを60分間で論述するものでした(800字以内)。
個人面接	4名の面接官による、1人あたり15分の面接を行いました。
口頭試問	4名の試験官による、1人あたり15分の個人試問を行い、基礎学力(数学、英語)を確認しました。

## ●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性
2次(講義等理解力試験)	○	○	
2次(小論文)	○	○	
2次(面接)		○	○
2次(口頭試問)	○	○	